

# 横浜市立南太田小学校 令和6年度 学力向上アクションプラン

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「大きくそだて かしわの木のように」 めあてに向かってねばり強く取り組む子（知） 自分も友だちも大切に子（徳）（体） みんなのために役立つととする子（公） あいさつで始まるつながりを大切に子（開）	試行錯誤する能力 他者を理解する態度・自己を理解する姿勢 社会生活との関わり 言葉による伝え合い

### (2) 中期取組目標

中期取組目標
○ICT 支援員と連携して、GIGA スクール構想を活用した新学習指導要領に基づいた分かりやすい授業を行うとともに、子どもの実態に応じた指導により、基礎基本の定着を図る。 ○算数を重点研究とし、基礎基本の学力の定着と、自他の考えを活用して課題に対して粘り強く取り組む子の育成を図る。

### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
授業改善	・「わかった！できた！やってみたい！」の子どもの姿を目指して～子どもが自ら学びに向かう姿をめざして～」をテーマに校内重点研究を実施する。 ・研究の成果を他教科へ生かす。
担当	評価研究部

## 2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握（令和5年度の結果から）

### (1) 学力の概要と要因の分析

全体的に市の平均より下回っている。また生活意識、学習意識も低い傾向にある。

学習の「基礎・基本」をしっかりと定着させていくことが大切であり、今後も課題である。授業がわかりやすく、児童が自信をもって自分の考えや意見を表現できるようになることを、授業の中で取り組んでいく。

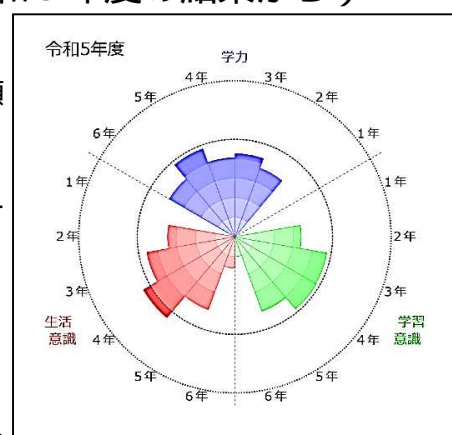
### (2) 教科学習の状況

国語科：基礎・基本の能力の定着を図ることを継続していく。

算数科：基礎的な知識の理解の定着とともに、公式や、表などを活用する力を伸ばすことが課題である。

社会科：基礎・基本の充実を図っていくとともに、思考・判断・表現や活用の力を伸ばしていく。

理 科：基礎・基本の充実とともに、思考・表現を活用する力を高めていく。



令和5年度4月実施のため、1年生のデータはありません。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

学校全体として、学力、学習意識、生活意識ともに市の平均を下回っている。また、高い学力層と学習・生活意識調査の各項目で「している」と答えている児童に相関関係がみられた。学習や生活の場面で、「わかった、できた、やってみたい」という達成感や成就感を得られるようにすること、様々な方法で自分の思いや考えを表現できるようにすることが課題である。

### 3 令和6年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことを言葉にする力</li> <li>・約束や決まりを理解する力</li> <li>・願いをもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話形を指導することで、授業中の発言等基本的な話し方を身に付ける。</li> <li>・伝えたいことや話したいことを進んで話したり、友達の話を受け止めたりできる雰囲気作りを行う。</li> <li>・基本的な読み、書き、計算の力を付けられるように、学習の習慣化を図る。</li> </ul>	
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体を大切に作る気持ち</li> <li>・基本的な生活習慣をつくる態度</li> <li>・言葉による伝え合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返しの演習問題への取り組みを継続し、基礎・基本の充実を図る。</li> <li>・大事なことを落とさないように聞いたり、相手に分かるように話し方を工夫して話したり聞いたりする活動を取り入れ、話す・聞く能力の向上を図る。</li> <li>・丁寧に順序立てて考える活動を通して、活用の力を身につけられるようにする。</li> </ul>	
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を発見する力</li> <li>・他者を理解する態度・自己を理解する姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字や計算などの練習を繰り返し、家庭学習も活用して、定着を図っていく。</li> <li>・文章を落ち着いて読んだり、分かったことや感じたことを文章に書き表したりする活動を取り入れる。</li> <li>・説明したり、思いや考え、感想などを交換し合ったりする場を意図的につくる。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや考えを表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字や計算の練習を、授業や家庭学習等で繰り返し行い、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>・自分の考えをもち、図や文で表したり、話し合ったりする機会を学習に組み込む。</li> <li>・個に応じた支援の充実を図りつつ、学習形態を工夫することで多様な学習ニーズに応えられるようにする。</li> </ul>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを伝え合う力</li> <li>・協働的に解決策を見出し実行する力</li> <li>・課題意識をもって主体的に学習に取り組む姿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の系統や他教科とのつながりを大切にし、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>・自分の思いや考えをもち、根拠を明らかにしながら、伝える力を育むと共に、他者と協働的に課題解決できるようにする。</li> <li>・学習内容や一人ひとりに応じた学習形態を工夫する。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他を理解し、生活をよりよくしていくようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の定着を図るとともに、活用できる力を身につける。</li> <li>・ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ思考力を高め、自分の考えを伝えあうことができるようにする。</li> <li>・協働的に学ぶ過程を通し、探究的に学ぶ態度を養う。</li> </ul>	
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な語彙の豊かさ</li> <li>・約束やきまりを理解する力</li> <li>・問題を理解する力</li> <li>・安全に行動する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、スモールステップで、繰り返し行うことで基本的な学習内容の定着を図るようになる。</li> <li>・自分の思いを引き出すことができる授業の工夫をする。</li> <li>・集団生活に必要な約束やルールを理解し、守って生活できるように支援する。</li> </ul>	